

## 模擬問題

# 2024後期・社福国試対策

ソーシャルワークの理論と方法(70~78+④)、社会福祉調査の基礎(79~84+②)

70 ソーシャルワークに影響を与えたシステム理論に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

1. システムはお互いに影響を及ぼし合うため、境界は存在しない。
2. 閉鎖システムは、ミクロレベルで存在する。
3. 事象を原子や分子などの構成要素に還元し、その要素を詳細にみることによって事象を理解できるという見方を基盤としている。
4. システムには階層性があり、システムの中にサブシステムが存在する。
5. システムの総和は、各要素を積算したものに等しい。

71 ソーシャルワークの展開過程に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

1. プランニングでは、支援やサービス提供が的確に進んでいるか、クライアントの取り組みがどのように進んでいるかを確認する。
2. インテークでは、アセスメントを再度実施し、援助プランの強化や新たな援助プランの立案を行う。
3. ターミネーションでは、援助目的に向かって援助計画が立てられる。
4. アセスメントでは、いかに問題に介入するかを見つけ出すことを目的に、情報を収集、統合し、分析をして最適の解決法を探ろうとする。
5. モニタリングでは、ソーシャルワーカーがどのような援助ができるかをクライアントに伝える。

72 ソーシャルワークの評価方法の一つである単一事例実験計画法に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. ケース終結後に繰り返して観察・測定を行う。
2. 援助プログラムを実施する前のインターベンション期と開始後のベースライン期のデータを比較する。
3. 独立変数以外の説明要因を排除できるため、独立変数と従属変数の間の因果関係を説明する上で説得力のある評価方法と言える。
4. 課題を抱えた集団を、実験群と統制群の二つの軍に分ける。
5. クライアントを援助する過程で用い、効果に関する情報をケース援助に直接フィードバックすることができる。

73 アセスメントに関する次の記述のうち、適切なものを2つ選びなさい。

1. クライアント本人からの情報収集のみによって成り立つ。
2. クライアントの話を丁寧に聴くために、アセスメントシートに記載された質問内容を順番に一つずつたずねていく。
3. アセスメントの起源は、リッチモンド (Richmond, M.) の『社会診断』に遡ることができる。
4. アセスメントで得られた情報を組織化することが重要である。
5. プランニングを進めた後に取り組む。

74 実践モデルに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

1. ライフモデルは、問題とその問題を引き起こしている原因の直接的因果関係を重視する。
2. ストレングスモデルは、ポストモダニズムの潮流から登場した。
3. 医学モデルでは、生活課題は人と環境の相互作用の中で生じると捉える。
4. ストレングスモデルでは、個人よりも地域のストレングスに着目する。
5. 医学モデルは、一般システム理論と生態学理論のプラスの側面を取り込んで発展した。

75 問題解決アプローチに関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

1. 診断学派のホリス (Hollis, F.) によって提唱された。
2. 役割理論の成果を取り入れた。
3. ソーシャルワーカーの能力であるワーカビリティを活用することを重視した。
4. 女性のエンパワメントと社会変革の双方を支援の焦点とすることを特徴とする。
5. 社会構成主義の考え方を基盤とする。

76 次の事例を読んで、Y福祉活動専門員 (社会福祉士) が介入しようとしているレベルとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事例〕

T災害公営住宅は震災後に建設された。様々な地域から未知の土地であるT災害公営住宅に転居してきた入居者は、町内会や棟のイベントなどの機会を活用しながら、住民同士のつながりを獲得してきた。震災後数年経過したある日、Y福祉活動専門員は、T災害公営住宅に住むUさん (82歳、男性) から相談を受けた。コロナ禍以降集まる機会が減少しており、また棟の住人が転出して住む人が変化してきたことから住民同士のつながりが減少していることが不安だと言う。Y福祉活動専門員は町内会とともに実態把握と今後の対応の検討を行うこととした。

1. ミクロレベル
2. メゾレベル
3. エクソレベル
4. クロノレベル
5. マクロレベル

77 相談援助における面接に関する次の記述のうち、適切なものを2つ選びなさい。

1. 目的を明確化し、何らかの筋道に沿って面接手段等のある程度設定して行う面接を非構造化面接という。
2. 生活場面面接は、クライアントがよりリラックスして臨むことができるという利点がある。
3. クライアントが十分話すことができるように、面接の時間は設定しない。
4. 居宅での面接では、クライアントがほかの家族に気兼ねをしたりクライアントの秘密が守られないことがある。
5. 通常の会話と比較すると、面接では明確な役割や責務が存在しない。

78 エンパワメントアプローチに関する次の記述のうち、適切なものを2つ選びなさい。

1. 抑圧状況を作り出している構造要因を変革することにも焦点を当てる。
2. モダニズムの潮流の中で発展してきた。
3. クライアントとのパターナリスティックな関係を基盤とする。
4. ホワイト (White, M.) とエプストン (Epston, D.) が家族療法の実践を基盤に発展させた。
5. 何らかの理由によりパワーレスな状態に置かれている人の抱えている課題を対象とする。

① 事例を読んで、地域包括支援センターのM社会福祉士の対応に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事例〕

Jさん(81歳、女性)は、転倒して骨折したために入院治療を行っていたが、リハビリテーションを行い杖歩行が可能となったため退院を促されている。しかしJさんはエレベーターのない団地の5階に住んでいることを理由に、まだ退院できないと看護師に訴えていた。入院前にしばしばJさん宅を訪問して関わりのあったM社会福祉士は、病院から連絡をもらってJさんの病室を訪れたところ、「みんなで私を追い出そうとしているの。こんな状態ではまだ退院できないと言っているのに。」と言って泣き出した。

1. Jさんの希望通りに、退院しない方向で調整することを説明する。
2. 病院の職員が追い出そうとしていると考えるのは誤解であることを毅然とした態度で伝える。
3. 杖歩行が可能となったので退院するように説得する。
4. 退院できないと考えている理由について教えてほしいと話しかける。
5. 老人保健施設の入所の申し込みをしたことを伝えて、安心してもらおう。

② ケアマネジメント(ケースマネジメント)に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

1. ケアプランの内容は、口頭で合意を得る。
2. スクリーニングでは、ケアマネジメントの対象者に該当するかどうかを確認し、同時にクライアントの緊急度を捉える。
3. 我が国においては、高齢者分野に限定して用いられている。
4. クライアントがどの程度経済的な負担ができるかよりも、クライアントの希望を優先してケアプランを作成する。
5. ケアプランの目標は、達成しやすいように抽象的なものとする。

③ 記録の文体に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

1. ジェノグラムを活用することによって、クライアントを取り巻く状況を視覚化できる。
2. エコマップをクライアントと作成することで、クライアント自身が自分の置かれている状況に気づき、その気づきを問題解決に結び付けることができる。
3. フェイスシートには、面接中の会話や行動のやりとりを、一語一語忠実に記録する。
4. 逐語記録はクライアントとのやりとりを分析することができるため、日々の記録に適している。
5. IT機器を使った記録は、データの漏えいや記録の改ざんの危険性があるため、禁止されている。

④ グループワークに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

1. グループメンバーは同じ共通課題を抱えているため、その背景にある事情も共通している。
2. グループメンバーが主体的に参加できるようなプログラムを計画する。
3. グループ内で対立が生じた場合は、メンバー同士の関係を維持できなくなるため、グループを解散する。
4. グループワークは、プログラム活動でよりよい結果を生み出すことを目的に実施される。
5. メンバーが自由に参加できるように、グループワーク内の規則は設けない。

79 量的データについて述べた文のうち、適切なものを2つ選びなさい。

1. 中央値と平均値は近似的にあることが多い。
2. 標準偏差の値が小さいほど、分布の広がり大きい。
3. 分散の値が大きいほど、分布の広がり大きい。
4. 歪度は、分布の左右対称性を確認する指標である。
5. 第1四分位とは、昇順データを大きい方から1/4の値を指す。

80 調査方法について述べた文のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

1. 参与観察法では、調査者は調査対象者に観察されている意識を与えないように、調査対象者から見えないようにすることが望ましい。
2. 社会調査は理論的に設計されているものであるから、調査者の問題設定から外れるような情報は分析の対象にしない方がよい。
3. インタビュー調査の場合、調査の内容を深めるために、現場で臨機応変に、質問項目を付け加えることも必要である。
4. 社会調査は理論的に設計されているものであるから、観察対象を取り巻く環境を統制して行うことが望ましい。
5. インタビュー調査は、調査者と調査対象者の間に、相互作用の関係が生じることが多いため、回答に制約が加わらないことが多い。

81 アクション・リサーチについて述べた文のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

1. アクション・リサーチよりも参与観察法の方が、対象への関与が高い。
2. アクション・リサーチは事実追求の側面が強く、現場改革の視点は弱い。
3. アクション・リサーチは、外部の人間が参加して行うものではない。
4. アクション・リサーチにおいて用いることができる手法は限定されている。
5. アクション・リサーチの弱点の1つに、携わる個人の能力に限定されるという側面がある。

82 情報技術 (IT) と社会調査について述べた文のうち、適切なものを2つ選びなさい。

1. 質的調査で得られた質的データを量的に分析することを可能とした。
2. 調査原票の保管には大きな役割を果たしていない。
3. オープン型のインターネット調査であれば、データの正確性を保証できる。
4. インターネット調査の場合、回収率を定義することは難しい。
5. 標本数が大きくなれば、対象者の代表性を担保することができる。

83 社会調査の倫理について述べた文のうち、適切なものを2つ選びなさい。

1. 国勢調査は、統計法の規定により、「調査を受けない権利」は認められている。
2. 調査データは、質的データであっても、匿名の形で扱われる必要がある。
3. 調査データが匿名で扱われる場合、調査対象者にデータの取り扱いを説明する必要はない。
4. 調査データとしての動画や画像は、個人が特定されないように処理する場合、許可を得なくてよい。
5. 調査者には、調査を実施することによって生じるあらゆる事象について、責任を負う必要がある。

84 質問紙調査に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. 自由回答の場合、調査対象者の「生の声」を活かすことが大切であるからカテゴリー化は避けた方がよい。
2. 質問紙においては、一つの質問から社会的意識を測定するのは難しいので、評定尺度法を採用するのが一般的である。
3. 二項選択法は無回答が少なくなるという特徴があるので、この方法を探ることが一般的である。
4. インパーソナルな質問とパーソナルな質問に対する回答は、同様の傾向になるため、ワーディングに注意する必要がある。
5. 調査対象者は、質問紙のどのような質問に対しても肯定的な回答をする傾向があるので、ワーディングに注意する必要がある。

① 観察と面接に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. アクティブ・インタビューでは、調査対象者が過去の経験や記憶を貯め込んでいる「容器」として見る視点が強い。
2. 参与観察においては、観察対象に直接参加しながら観察記録を取っていく方法であるから、調査者の主観が強くなる危険性がある。
3. 事象見本法は、特定の行為にのみ焦点を当てて観察するため、時間のロスが少なく効率的な方法である。
4. グループインタビューは、人間関係が密な関係な集団に対して行うため、集団内の力学はあまり考慮しなくても良い。
5. 面接は理論的に計算されたものでなくてはならないから、構造化された質問に基づいて行わなければならない。

② 統計法に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. 公的統計は、行政のための統計という位置づけを与られている。
2. 公的統計は、調査統計と業務統計から成り立っている。
3. 統計法においては、総務大臣の指定による統計を一般統計としている。
4. 公的統計は、施策実施のための基礎資料としてデータの有効利用を促進している。
5. 統計委員会が専門的で中立公正な立場からの調査審議機関として位置づけられている。